

※正答率

| | 国語A | 国語B | 数学A | 数学B | 2教科 |
|-----|------|------|------|------|-------|
| 勝田中 | 75 | 70.1 | 62.8 | 43.6 | 251.5 |
| 全国 | 75.6 | 66.5 | 62.2 | 44.1 | 248.4 |

※結果分析(○できている ●できていない)

〈学力調査〉

【国語A】

- 要旨を捉えて、伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるような表現をすることができる。
- 文字の使い方などに注意しながら文章を推敲することができる。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
- 全体と部分との関係に注意して会話の展開を捉えたり、互いの発言から自分の考えを広げたりする力が弱い。
- 文章の展開に即して情報を整理して内容を捉えたり、集めた情報を整理して文章を構成したりする力が弱い。
- 漢字や歴史的仮名遣いなどに関する言語能力は高いが、基本的な「ことばのきまり(文の成分の照応)」が身につけていない。

【国語B】

- 本や文章などから必要な情報を読み取ることができる。
- 文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉えることができる。
- 目的に応じて文章を要約する力が弱い。
- 根拠を明確にしながらか自分の考えを具体的に表現する力が弱い。
- 自ら課題を設定し、課題解決のための情報収集方法(図書館での必要な本の探し方)が身につけていない。

【数学A】

- 方程式や不等式などの計算、図形の基本的な問題が正しく解けている。
- 具体的な事例で、表・グラフや式で表すことができる。
- 分数や小数の計算や文字を使った計算をする力が弱い。
- 関数では増加量を求めたり、表とグラフを対応させたり、変域を求めたりする問題が弱い。

【数学B】

- 与えられた条件をもとに、式に代入して値を求めることができる。
- 資料の傾向を捉え、判断の理由を説明することができる。
- 証明問題で筋道をつけて書いていく力が弱い。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力が弱い。

〈学習状況調査〉

- 多くの生徒が将来に夢を持ち、社会のできごとに関心が高く、地域の行事に参加して自然や地域の人とふれあう機会を持っている。
- 家庭学習を1日2時間以上している生徒は県平均を上回っており、宿題や復習に取り組んでいる。またゲームやスマホの時間も1時間以内としている生徒の割合は県・全国と比較して多い。
- 友だちの前で自分の考えや意見を発表することが得意だと答えている生徒の割合が県・全国に比べて少ない。

〈学校としての対応・目標〉

国語、数学で県平均を上回り、国語B、数学Aで全国平均を上回っています。学習事項の定着に向け、努力します。

- ①授業に力を入れます。
 - ・毎時間の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の発問)の時間を設ける。
 - ・ICT機器などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫する。
 - ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面を設定する。
- ②5教科の授業を中心に、図書室を利用した調べ学習を進めます。
- ③漢字の力をつけます。全校で漢字ステップアップ20問の取組を行います。
- ④学習習慣をつけられるようにします。
毎日の課題(デイリーワーク)と週末課題(ウイークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、必ず提出する習慣をつけます。
- ⑤3年生は10月から週2回、放課後教室で5教科の実力をつける取組も開始します。

〈保護者の皆様へお願い〉

2学期になり、受験に向けて力をつけなければならない時期となりました。上記のように授業や放課後の時間などで力を入れていきます。テスト後には課題とその提出状況をテスト連絡票でご家庭にお知らせしています。提出の遅れも含め、お子様の家庭学習の達成度をご確認ください。決まった時間に勉強するなど家庭学習の習慣が身につくよう、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。スマホの使用や就寝時間については家庭でルールを決めていただき、お子様とのコミュニケーションを大切にしてください。